

林業安全コラム

快適な職場に響く合言葉
「健康・安全・ゼロ災害」
(2017年 労働安全衛生年間標語[スローガン])

○ 7月は熱中症予防強化月間（7月1日～7月31日）です。

熱中症による死亡災害ゼロを目指し、平成29年5月から9月までにおいて、事業上における責任体制の確立を含めた熱中症予防対策の徹底を図ることを目的として、熱中症予防対策（STOP！熱中症クールワークキャンペーン）が展開されています。7月はその重点取組期間として、作業環境管理や作業管理、健康管理、労働衛生教育等を実施することとされています。厚生労働省が発表した平成28年の林業における熱中症による死傷者は13人で昨年より5人増加しており、そのうち死亡者数は1人となっています。

今後、本格的な夏期を迎え、熱中症による労働災害が多く発生することが懸念されることから、こまめな水分補給や休憩、通気性が良く吸湿・速乾性の機能を持った衣類の着用、保冷剤や冷たいタオルなどによる身体の冷却などの熱中症対策の一層の取組をお願いします。

○ 蜂刺されに注意！

夏場の林業作業で留意すべきものに熱中症に加えて蜂刺されがあります。刺す蜂の中で危険なのはスズメバチとアシナガバチです。特にスズメバチは攻撃性も強く、刺された場合危険な状態に陥る場合もあり注意が必要です。我が国では、野外で作業する林業従事者はもとより、一般の人々も含めて全国で近年20人程度の方が蜂刺されて亡くなっています。蜂や蜂の巣に近づかないことや黒地の着衣を避けること、発生が予想される場所での作業は防蜂網を着用するなどの予防対策が重要です。また、蜂に刺された場合、アナフィラキシーショックにより死に至る場合もあるので、補助治療剤のアドレナリンの自己注射器の携帯をお願いします。

○ 死亡災害発生状況について

厚生労働省が発表した平成29年における労働災害発生状況（速報）によると、1月から5月までの死亡災害は16人で、前年同期比で4人増となっており、依然として死亡災害が多発している状況が続いています。

平成29年における死亡災害発生状況（速報）

（平成29年6月7日現在）

業種	平成29年(1月～5月)		平成28年(1月～5月)		平成27年(1月～5月)		対28年比較		対27年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	328	100.0	320	100.0	331	100.0	8	2.5	-3	-0.9
建設業	101	30.8	101	31.6	117	35.3	0	0.0	-16	-13.7
林業	16	4.9	12	3.8	15	4.5	4	33.3	1	6.7
農業、畜産・水産業	12	3.7	10	3.1	11	3.3	2	20.0	1	9.1

資料：厚生労働省「平成29年における労働災害発生状況（速報）」

7月1～7日は全国安全週間でした。今年度の全国安全週間実施要綱では、業種の特성에応じた労働災害防止対策として、以下の事項を実施することとされています。

（ア）チェーンソーを用いた伐木及び造材作業における保護具、保護衣等の着用並びに適切な作業方法の実施

（イ）木材伐出機械等を使用する作業における安全の確保

安全週間後も引き続きこれらにご留意いただき、死亡災害をはじめ労働災害の撲滅に向けた取組をお願いします。